

和地ひとみレポート No.466

多摩26市で初。来年度から全市立中学校でオンライン英会話個人レッスンスター
各自のレベルで生きた英語を学ぶように



■タブレット端末を活用し

…2月22日から始まる東大和市議会定例会の中では、来年度の市政運営について市長が述べる「施政方針演説」とその内容に対する議会の代表質問が行われます。また、会期中には来年度予算を審議する予算特別委員会も開催され、来年度の市政運営に関する様々なことが議会で審議されます。

…来年度の予算を審議するにあたって、市は来年度の予算案を14日に発表。その中では、来年度の主な事業についても触れられましたが、その中の1つ「中学校におけるオンライン英会話レッスンの導入」については、東京都の多摩26市の中で初の取組のため、新聞でも取り上げられ話題となっています

…このニュースを知った時の率直な感想は「実現してくれた！」というもの。実は、私が市議会の厚生文教委員会の副委員長をさせていただいた際に、委員会で佐賀県武雄市を訪問し、「ICT利活用教育の推進・『官民一体型』小学校の創設」について視察させていただきました。当時は学校でタブレット端末を使用することが珍しかったにもかかわらず、武雄市の小学生は、タブレットを使用し、海外の同年代の子ども達と英会話をしていました。その光景に驚いたのと同時に、私は、東大和市でも実施したいと思っていました。

…しかし、当時は、東大和市の小・中学校では、1人1台のコンピュータ端末は割り当てられない状況で環境が整っていませんでした。でも、コロナ禍をきっかけに、いわゆるGIGAスクール構想が一気に進み、2021年度より全児童・生徒にタブレット端末を東大和市でも貸与しています。

…東大和市だけでなく、国の補助もあり、コロナ禍で全国の自治体でGIGAスクールに取り組むようになりましたが、タブレットの活用方法など、その内容には差が出ているのが実情です。

…そんな中、私は武雄市での光景が忘れられず、事あるごとに「タブレットを活用して海外とつながり、生きた英語を学ぶ環境を整えるべき」と教育委員会の指導主事などに提言してきました。その後、1年ぐらいたって、「なんとか実現するかもしれません。」という話を耳にしたので、いつになるのか楽しみにしていました。

…今回の予算計上に踏み切ったことは、大いに評価できることだと思います。なお、来年度＝令和5年度の予算概要説明書と予算書については、市のホームページに掲載されています。

【中学校におけるオンライン英会話レッスン導入の予算】

◇予算額:2,734万6千円

◇財源

市の一般財源……………1,267万3千円
国のデジタル田園都市国家構想交付金

1,367万3千円

企業版ふるさと納税……………100万円

■導入の目的や期待する効果は

…今回、東大和市が来年度から導入する「中学校におけるオンライン英会話」については、新聞報道でもあったように市立中学校全校で本格導入するのは多摩26市では初の試み。多摩市では、平成30年度より導入していますが、中学2年生が年2回のレッスン、中学3年生が年1回のレッスンというものです。

…東大和市での導入の内容は、以下のとおりです。

【東大和市が導入するオンライン英会話レッスンの内容】

◇対象学年:中学1年生から中学3年生の全員

◇回数:一人年間18回

(授業内5回、スピーキングテスト3回、

夏季休業期間5回、レッスンポイント5回)

…この英会話レッスンはオンライン(インターネットを通じて行うもの)ですので、インターネットの環境が整っていれば、学校だけでなく自宅でも受講が可能です。よって、東大和市では、学校に来ることができない不登校の生徒さんにも、このオンライン英会話レッスンを受けてもらうようにしています。

…また、今回、導入に踏み切った理由は、以下の目的があると同時に効果を期待してのことと市の教育委員会教育指導課はコメントしています。

【オンライン英会話レッスンの目的と効果など】

英語教育は、生徒の話す力を伸ばし、「使える英語力」の育成が課題となっている。

このことから、GIGAスクール構想に基づき整備した1人1台端末を活用し、海外在住の外国人講師とオンラインで結び、マンツーマンでの英会話レッスンを導入する。

マンツーマンでの個別レッスンを行うことにより、生徒の発話量が多くなり、一人ひとりの英語力に合わせた学びの機会を提供する。

(裏面に続く)

各レッスン後には、外国人講師からフィードバックを行われるとともに、定期的にスピーキングテストを行い、英語力の定着を図る。このことにより、生徒の英語への親しみ、英語に対する好奇心を高め、学力の向上につなげる。

…なお、市の教育委員会では、令和5年度の中学校全校への導入の効果検証を行ったうえで、令和6年度以降のレッスン回数や小学校への拡大についても検討を行うとのことです。

■導入するのはWeblio(ウェブリオ)英会話

…東大和市が導入を決定したオンライン英会話は“Weblio 英会話”というGRASグループ株式会社が提供しているもの。このWeblioは、無料で使える英和・和英辞書などをインターネットやアプリで提供しているので、使用された方も多いのではないのでしょうか。

…このWeblioの提供するオンライン英会話について調べてみると、高品質なレッスンを業界最安価格帯で受講できるサービスのよう。また、オンライン英会話レッスンについては、「個人向け」、「学習塾向け」、「学校向け」、「企業向け」を提供されており、今回、東大和市が導入するのは、その中の「学校向け」。この「学校向けオンライン英会話」については、日本全国の公立・私立の中学・高校 250校以上に導入されているそうです。

…Weblioの学校向けオンライン英会話のホームページによると、学校での英語授業において、以下の悩みを解決することに役立っているとのこと。東大和市にも同様な課題がある中、今回の導入で様々な課題が解決できると推察します。

【解決できる学校における英語の授業の悩みなど】

◇ALT(外国語指導助手)の授業では生徒一人あたりの発話量が少なくなってしまう…

東大和市でも、各校にネイティブのALTを配置していますが、1クラスに1名のALTでは、生徒一人あたりの発話量は限られます。

◇生徒の英会話レベルの差が大きく一斉に授業をするのが難しい…

確かに、英会話のレベルは様々。学校向けオンライン英会話の場合は、各生徒の英会話のレベルを踏まえたくて講師と生徒が一对一で英会話を行えます。よって、各生徒のレベルに沿った英会話レッスンが可能です。

◇GIGAスクール構想で導入されたタブレットを十分に活用できていない…

東大和市の学校では、タブレットを活用する機会が増えていますが、オンライン英会話を学校導入すると、タブレットで英会話のレッスンを行うことになり、学校教育における英語学習コンテンツとして、さらにタブレットを有効活用することもできるようになります。

■つながる国はどこ？

…オンライン英会話レッスンは、前述のとおり、インターネットを通じて行われるもの。外国人講師とつながるWeblioの講師陣はどこにいる、どんな国籍の方でしょうか。

…Weblioのオンライン英会話の講師陣はフィリピン人です。フィリピンは、1900年代前半から約50年間にわたってアメリカに統治されていた国。統治されていた時代にアメリカ人から英語教育を受けていたこともあり、フィリピンの公用語は、フィリピン語(タガログ語)と英語の2言語となっており、フィリピンは、アメリカ、イギリスに次いで、3番目に英語を話す人口の多い国とも言われています。

…また、アメリカ人やイギリス人のように英語のみを母国語とする国の人には想像できない、英語を理解することの難しさなどについても、2言語を公用語とするフィリピンの方が日本人の生徒の気持ちを理解してくれると思います。

…また、発音の問題や、講師陣のレベルのばらつきなども心配なところですが、Weblioによると「有名大学出身かつ1年以上の英会話指導経験をもつフィリピン人講師のみが厳選採用されています。採用された講師全員が、現地フィリピンにあるウェブリオ株式会社の子会社でレッスンに向けたトレーニングも積んでいるため、指導力のばらつきに対する心配がありません。」とのこと。

…また、レッスンマネージャーが全レッスンを監視・管理し、全レッスンに控え講師を待機させており、万が一トラブルを検知した場合には、Weblioが講師交代を行い、レッスンが途切れないように対応することです。

…フィリピンとの時差は日本より1時間遅れ。上記の背景と日本に友好的なフィリピンの方ということ、そして時差を考えると、オンライン英会話でフィリピンにつながることも領けます。

…また、発音について日本人はとても気にして、話せるのに話さないということも問題とされていますが、実際に英語を母国語としていない人が、少くせのある発音で英語を話しても大きな問題にはなりません。むしろ、自分の意見を自分の言葉で伝えない方が、国際社会では大きな問題ですので、発話量が多くなるこのレッスンは、実践的に有効なものとなると思います。

■自分の言葉で自分の意見を述べる

…どんなにつたない英語でも、自分の言葉で伝えることの重要性を、私は外資系企業に転換したあとの職場やカナダへの留学期間に実感しています。

…今回のオンライン英会話の導入により、英語力だけでなく、子ども達が自分の意見を述べる重要性に気づいてくれたらとも期待します。そして、オンラインだけでなく、実際に海外の人と会って会話し、交流する機会を東大和市でも実現出来たらと思っています。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。3期目の任期3か月を残し、2023年1月末日付で議員辞職。



もと東大和市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102